

SolarisによるIdP構築, 既存の学内認証環境との連携

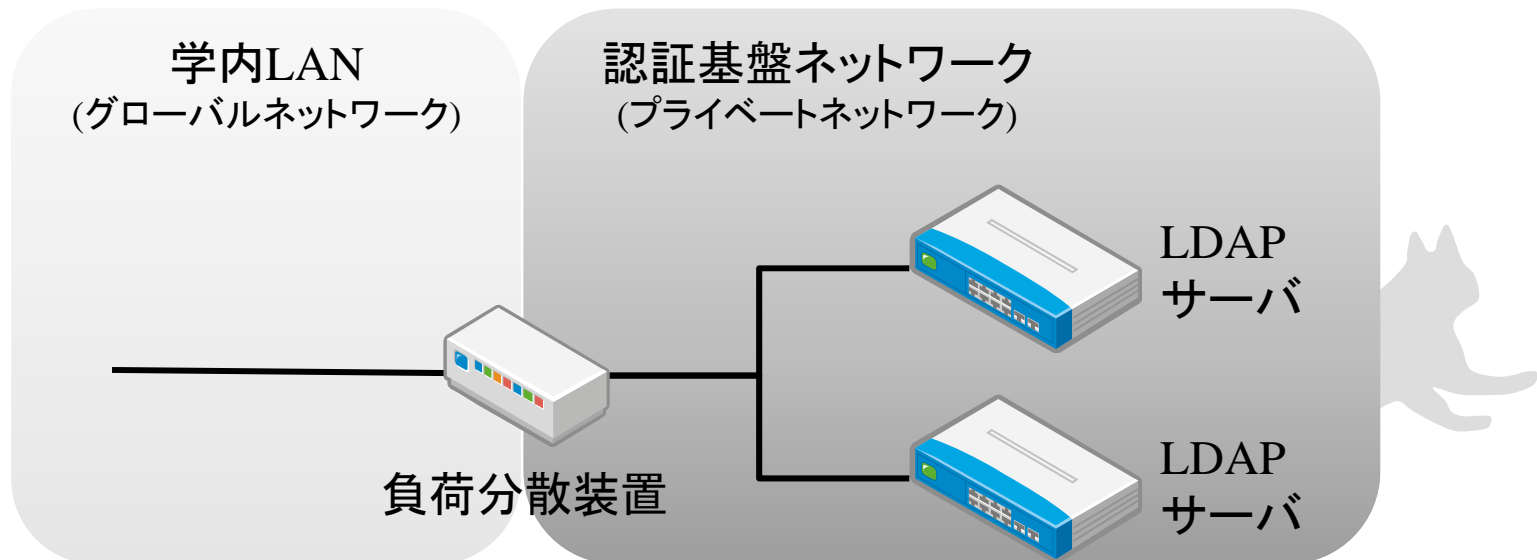
名古屋大学情報連携基盤センター

平野 靖



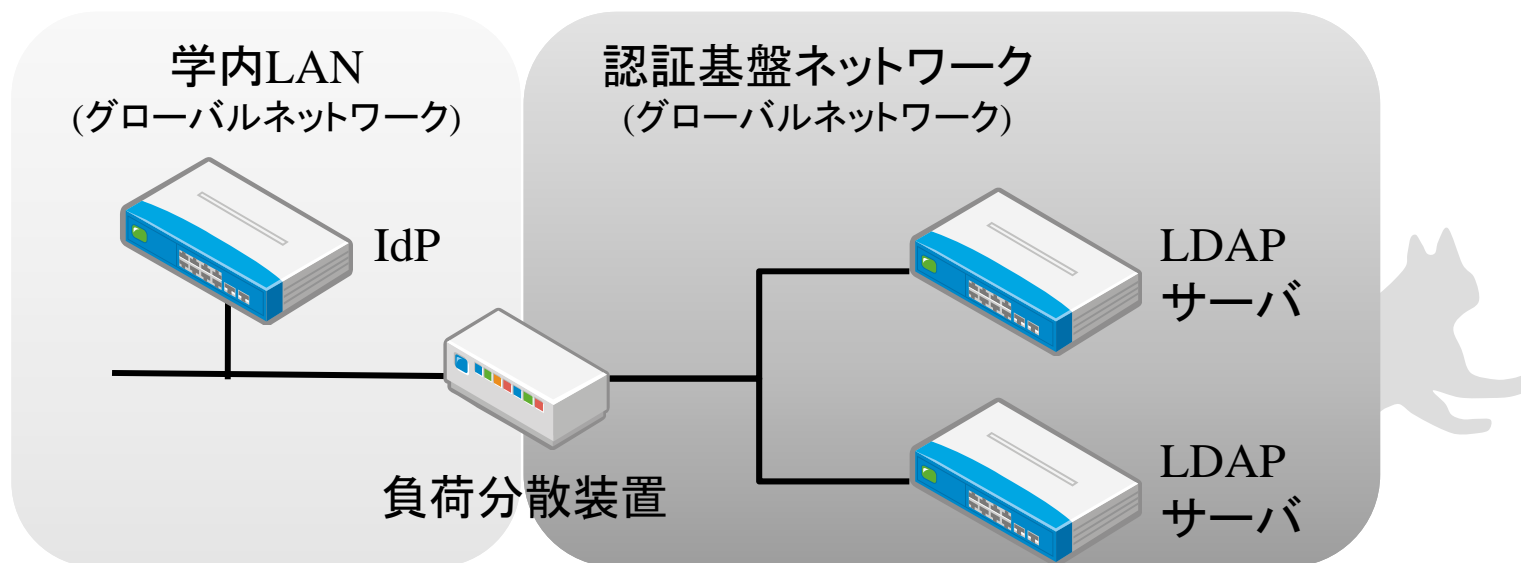
名大の認証基盤の構成

- 複数台のLDAPサーバ＋負荷分散装置
 - LDAPサーバ: ユーザの認証情報を格納
 - UltraSPARC IIIi, Solaris 9
 - Sun Java System Directory Server Enterprise Edition



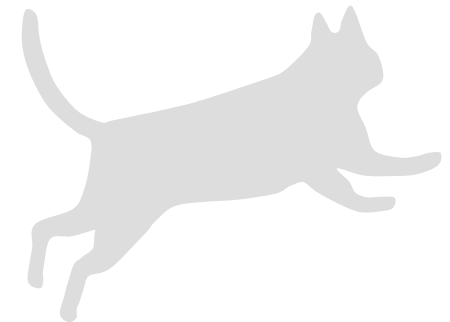
構築したIdPの構成

- UltraSPARC IIIi, Solaris 9 + Shibboleth
 - 既存の認証基盤がSolarisで運用されており、技術職員がSolarisに慣れている
- IdP外部のLDAPサーバを参照



問題点など

- NII作成のマニュアルについては問題なし.
- 既存の認証基盤での制約がなければLinuxの方が簡単そう.
 - 有志によって提供されるパッケージの数
 - パッケージの新しさ



今後の計画

- 名大で運用しているSSOミドルウェアであるCAS²との連携
- 阪大のグリッド用認証局との連携

